



# 披露山便り

第1号 2016春  
発行：BSZ1 編集部

## 新生逗子第1団発進

この春より、逗子第1団と逗子第2団が一体となり、新生逗子第1団となりました。ボーイ隊は今までも一緒に活動を行ってききましたが、これからは同じ団の仲間として一緒に活動して行きます。各隊の人数が増えたので賑やかになると思います。

右の写真は4月3日に行った、上進式、ちかいの式で集まったみんなの写真です。全員が赤いネッカチーフで統一した記念すべき一枚です。咲き始めた桜も祝福してくれているようでした。



### 逗子第1団の歩み

発団から54年を迎える逗子第一団。今までの歴史を軽く振り返ってみよう。

- 1962年：BS隊20名で発団
- 1963年：CS隊も発足
- 1978年：逗子第2団と分団（逗子第2団の発団）
- 1987年：BVS隊始まる
- 1989年：披露山本部の新築
- 1998年：第53回神奈川ゆめ国体開会式への奉仕
- 2004年：逗子第2団の湯田中野営場開場
- 2012年：逗子第1団の発団50周年  
50周年キャンプよりBS隊が第1団と第2団が合同で活動
- 2013年：シンボルツリーのたぶの木が台風で倒れる
- 2016年：1団と2団の合体により新生逗子第1団発足

## 2016年度にあたって

平成28年度が始まり、逗子に2つあった団が統合されて1つの団になりました。思い出してみますと38年前に逗子第1団の人数が多くなり逗子第2団ができました。2つの団に分かれても逗子第1団のカブ隊は2隊あり、スカウトが48名もいる状況で、今から見るとスカウト人口が増加している時代でした。

分団してからの38年の間に日本連盟登録は36万人から25万人が減っており、逗子第1団と逗子第2団も同様にスカウト人口が減ったことから今回統合することとなった次第です。

スカウト人口が減った原因は色々ありますが、時代の流れだけではなく活動の楽しさが失われているのも1つかと思います。また、指導者の質も原因だと思います。私達逗子第1団の指導者は地区のビジョンにあります「スカウティングの原理」を理解し、班制教育・進歩制度・野外活動を忘れることなく、隊長ハンドブックを熟読してスカウトが楽しめるプログラムを立案し指導に当たります。さらに、研修所・実修所への参加を積極的に行うと共に、地区内で行われているラウンドテーブルの参加により自己研鑽に努めていきたいと思っています。



丸山団委員長

私の願いとしましては、新生逗子第1団が湘南地区において人数もさることながら、スカウトの楽しさの面でも他団の方から羨ましがられるような団にしていきたいと思っています。

保護者の皆様におかれましては、今後ともスカウト活動への理解とご協力をお願い申し上げます。

## 各隊の今年の抱負

### ビーバー隊

ビーバー隊は現在1年生2名、2年生6名で元気に活動しています。今年のテーマは「富士山をめざせ！」実際に富士山に登るわけではありませんが、近所の山や海を中心に、たくさん歩きます。本部では「おにぎりパーティー」や「竹を使った工作」など。



千葉敦子隊長

年に数回は団のおじさんやおばさんと一緒にキャンプファイヤーやゲームをしてたくさんの仲間と一緒にスカウト活動をします。

ビーバースカウトの目標は『元気に仲良く！』

### カブ隊

カブ隊は体験重視のプログラムを展開します。今年度はスカウト数19名で、3組編成となり、三つ巴で切磋琢磨の出来る良い環境となっています。

昨今ありがちなモニターの画面を見て、やった気になるようなバーチャル人間は要りません。活動の場を野外に求め、炎の熱さを感じ、川の水の冷たさを知る。そして時には、仲間同士ぶつかりあって痛さも感じる。

そんな場面にも出会える活動を提供し、スカウトの成長を後押ししていきます。



藤田俊隆隊長

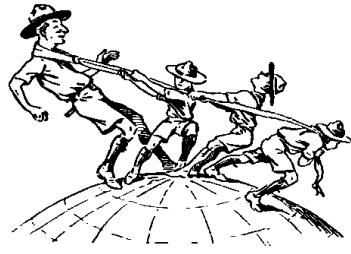


## ボーイ隊

ボーイ隊は今夏 5THC(第5回東北北海道キャンボリー)へ参加します！  
 逗子第1回発団以来の最も北の地での夏期野営実施です。  
 スカウトたちと何を見て、何を感じ、そして何を身(己)に得るのか？  
 夢と期待に溢れた活動を行ないます。



岡本裕隊長



## ベンチャー隊

新生1団となり VS 隊のスカウトは4名となります。VS 隊の活動はスカウティングの集大成であり、幼少時からスカウト活動を通じて良き社会人を目指して活動してきたスカウトたちが青年となり、自主性とリーダーシップを発揮しながら「自分自身を高める楽しい活動」を行うという高度なスカウティングを行います。

スカウト最高の進級章である「富士章」を目指して近い将来の「社会人となった自分」を見つめながら活動するスカウトたちのバックアップをしていきます。

また、団関係者、保護者の皆様にもスカウトたちの応援をしていただけるようお願いいたします。

丸山勇吾隊長



## ローバー隊

今年度のローバー隊指導者としての方針は下記の2点です。

- ① ローバースカウト活動の活性化を行う。
- ② 指導者自身の自己研鑽を行う。

上記①については、ローバースカウトが団、および隊の活動へ参画することから始めたいと考えています。

現状ではなかなか連絡を取りにくい状況ですが、まずはこまめな連絡によりコミュニケーションを図り、少しでも活動に参加できる環境を作ります。上記②については、スカウト活動の精神がスカウト運動への奉仕のみでなく、地域社会への奉仕も有りますので、その点を私達指導者も実践するように心掛け、今年度は青少年指導員や、東北地区の被災地支援等の活動にも力を入れ、自身でローバースカウト活動への理解を深めようと考えてます。また、今年度は他の隊のリーダーとも連携し、隊のみでなく団も盛り上げていきたいと考えてます。



杉山正義隊長

## 各隊リーダーの紹介

### ビーバー隊



丸山摩利子副長



後藤祥子副長



堀江裕一副長



高谷清彦副長



小池佑利副団委員長



渡辺清史副団委員長

### カブ隊



有我玲子副長



佐藤健一副長



田中翼副長



飯山明裕団委員



山中義夫団委員

### ボーイ隊



糠信健次副長



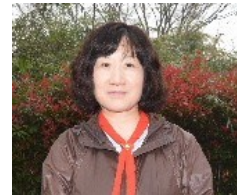
糠信美穂副長



雑賀洋子副長



雑賀真之介副長



諸星朋子団委員



堀江順子団委員

### ベンチャー隊



鈴木利幸副長

### ローバー隊



深澤美光副長



森一雄副長



高須まり子団委員



石川有子団委員

### ✿編集後記✿

保護者の皆様と団とを繋ぐ情報誌として披露山頼りをようやく発刊することができました。年に4回の発行を目標として続けて行きたいと思っております。  
 保護者の皆様からのご意見、質問、感想など何でも構いませんので情報を寄せて貰えると嬉しいです。どうかよろしくお願いいたします。



松本寛団委員



松澤修司団委員



秋山千恵団委員